

第4回 観光・まちづくり教育全国大会 in福島 実施報告

1. 名称 第4回観光・まちづくり教育全国大会 in 福島

2. 目的 観光・まちづくり教育の全国的推進
観光・まちづくり教育を推進する教師と観光関係者との交流

3. 対象 小中学校教師・観光行政担当者（都道府県、市町村）・観光関連企業

4. 開催日時 平成24年7月1日（日）11:00～14:00 時刻通り開始終了

5. 開催場所 ホテルハマツ（福島県郡山市）

6. 内容 <第一部>
・観光・まちづくり教育賞 表彰
・子ども観光・まちづくりPR映像大賞 表彰
<第二部>
・震災・観光地復興特別模擬授業
・入賞者の実践・PR映像等発表
・子ども観光大使実践発表
・行政・地域との連携による実践報告
・タブレットPC等を利用した震災復興教育への取り組み
・観光・まちづくり教育最先端模擬授業

7. 参加人数 192名

8. 主催 第4回観光・まちづくり教育全国大会実行委員会

9. 後援団体

総務省、観光庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、福島県、郡山市、福島県教育委員会、郡山市教育委員会、
他福島県内自治体及び教育委員会、公益財団法人郡山コンベンションビューロー、社団法人全国旅行業協会、
社団法人日本観光振興協会、公益財団法人日本交通公社、一般社団法人日本旅行業協会、福島民報社、福島民友新聞社 ほか

10. 協賛企業 (50音順)

アサヒビール株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、グーグル株式会社、株式会社ジェイティービー、西武トラベル株式会社、全日本空輸株式会社、トキワ印刷株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、郵便事業株式会社、株式会社ヨークベニマル

11. 大会関連事業

- 1) 観光・まちづくり教育賞 応募総数 284 作品 16 作品を優秀賞として表彰
- 2) 子ども観光・まちづくり動画大賞 111 作品 5 作品を優秀賞として表彰

14. 大会終了後資料

福島民友新聞社、福島民報社、交通新聞社、日本教育新聞社、福島中央テレビ

<福島民友新聞社 平成24年7月1日(日)付> <福島民友新聞社 平成24年7月2日(月)付>

<福島民報社 平成24年7月2日(月)付> <交通新聞 平成24年7月6日(金)付>

<週間教育資料 平成24年7月16日(月)号> 福島中央テレビ放映なし

15. 参加者アンケート結果より抜粋 (回収72枚)

- (1) 東日本大震災の被災地である福島県郡山市で観光・まちづくり教育全国大会が開催され、参加できてとても嬉しいです。復興に向けて福島はもちろん、全国各地で子ども達を中心に活動している様子がたくさん伝わってきました。
- (2) 「今後の日本をどうしていくか」という大きなテーマ性のある大会でした。観光立国教育、まちづくり教育を実践し、日本を盛り上げていく重要性が分かりました。今回、この大会に参加したことで日本のよりよい未来を作っていくということに対して、深く考えるようになりました。
- (3) 観光・まちづくり教育こそが地域を盛り上げ、元気にするのだと強く実感しました。東北の復興はもちろん、日本全体の復興にもつながっていくのではないかと思います。
- (4) 「国の先を見る」「ふるさとを愛する」といったことを誰が子ども達に教えていくのか。それは「教師である」ということを教えていただいた大会でした。自分が住んでいる地域のよさや資源を次の世代につなぐことがどれだけ重要か、そのことをこの大会は分かりやすく教えてくれます。また、大会実践の中に登場する子ども達の姿がとても印象的でした。地元を知り、楽しそうに映像やポスターなどにまとめている子ども達は、近い将来自分たちの生まれたところに愛着を感じるはずだと思いました。
- (5) タブレットPC等を利用した震災復興教育への取り組みでは、具体的にどのように使えば効果的かがよく分かりました。最先端の技術を使ってすごいコンテンツが瞬く間にできてしまうTOSSの先生方の腕の素晴らしさ、アイデアの豊富さに驚きました。

ホテルハマツ外観



ホテルハマツ入口



郡山駅売店掲示



会場全景



観光・まちづくり教育賞表彰



こども観光・まちづくりPR映像大賞表彰



震災・観光地復興特別模擬授業



子ども観光大使実践発表



観光・まちづくり教育最先端模擬授業

